



# 少年センターだより

発行 栗東市少年センター  
〒520-3015  
栗東市安養寺3丁目1番1号  
栗東市学習支援センター  
電話 077-551-0141  
FAX 077-552-5544

## 薬物乱用と心身への影響～薬物乱用を防止するために～



厚生労働省によると、薬物乱用問題は、全世界的な広がりを見せ、人間の生命はもとより、社会や国の安定を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つになっています。薬物乱用が日本国内でも深刻な社会問題となるなか、薬物乱用を許さない社会環境を目指して、1993年に官民一体となってスタートした「ダメ。ゼッタイ」普及運動。6月20日から7月19日まで実施し、国連支援募金に協力を行いました。国連が定めた「6.26 国際麻薬乱用撲滅デー」を

周知させると共に、様々な分野の団体と連携しながら、全国各地で街頭キャンペーンなどの啓発活動を行いました。

厚生労働省と都道府県では、10月1日から11月30日までの2か月間、「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」を実施します。本運動は、麻薬・覚醒剤・大麻等の薬物乱用による危害を広く国民に周知し、国民一人ひとりの認識を高めることにより、麻薬・覚醒剤・大麻等の薬物乱用の根絶を図ることを目的としています。

覚醒剤をはじめとする薬物乱用は、精神と身体の両面に深刻な悪影響を及ぼします。脳の正常な発達を止め、精神のバランスを悪くさせるため、脱力感、疲労感、幻覚、妄想といった精神障がいや、脳をはじめとする身体の主要器官に深刻な悪影響を及ぼし、最悪の場合死に至らしめます。一度だけのつもりがいつの間にか薬物依存となり、一度しかない人生が取り返しのつかないものとなってしまいます。

<参考：(公)麻薬・覚せい剤乱用防止センター資料>

**だから、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」なのです。**



## 少年センター秋の諸活動

夏には市内小学校にて非行防止教室を行い、秋は、「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」及び「図書等取扱店等一斉調査」が実施されます。また、11月は「滋賀県子ども・若者育成支援推進強調月間」であり、県下の少年センター及び各関係機関・団体とともに、子ども・若者育成支援推進に向けた取り組みが行われます。

栗東市少年センターでも次の諸活動を実施します。

### ●「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」

(10月1日～11月30日)

市内小学校の児童に「薬物乱用」の恐ろしさを正しく理解してもらい、一人ひとりの規範意識を高めようと、「薬物乱用防止教室」をはじめとする啓発活動を実施します。また、薬物乱用防止読本を児童や学校に配布し、より一層の理解を図ります。



### ●「図書・刃物等取扱店一斉調査月間」

(10月1日～11月30日)

警察、保健所、中高等学校等の関係機関と合同で、青少年をとり巻く有害環境浄化推進のため、図書、DVD、ビデオ・ゲームソフト・有害玩具(エアガン・スタンガン)・刃物等の取扱販売店やカラオケ・ネットカフェ店の規制対象業者に対して、法を順守し、管理状況や販売方法が適切であるかの調査を実施します。



### ●「滋賀県子ども・若者育成支援推進強調月間」

(11月1日～11月30日)

期間中に子ども・若者育成支援推進のための諸事業、諸活動を集中的に実施することにより、県民の子ども・若者育成支援推進に対する理解を深めるとともに、各種活動への積極的な参加を促進し、県民運動の一層の充実と定着化を図ります。少年センターでは、街頭啓発活動、巡回パトロールなどを実施します。





# 栗東市内小学校にて実施 非行防止教室



補導委員の質問に答える児童(金勝小学校)

質問に挙手する児童(治田東小学校)



## 規範意識を高め、犯罪について正しく理解しよう ～ 初発型非行(万引き)防止と SNS 被害防止を学ぶ ～

非行防止教室は、児童生徒にとって規範意識を高め、犯罪について正しく理解し、社会情勢などについて学習するとともに、集団の秩序を守りつつ、他者を思いやり、他者を傷つけず、他者からも攻撃を受けないように、自分で自分の身を守る知識やスキルを身に付けることを学習するものです。

栗東市では、少年補導委員会啓発部会・草津警察署等と連携して、市内の9小学校にて、4年生(1校3年生含む)781人を対象にした非行防止教室を実施しました。教材ビデオ「万引きは、ぜったい悪い!」の視聴では児童は「ダメやで!」「あかん!」と思わず声を出し、真剣な眼差しで見っていました。質問に答えたり復習しながら、万

引きがどうしてもだめなのかを再確認しました。児童一人ひとりが自分自身の問題として受け止め、自分や友人に対する万引き等の罪に対して、適切な意思決定や行動選択の必要性を学びました。SNSの話では、LINEやメールで気をつけることなど危険性について勉強しました。



ビデオを視聴する児童(大宝西小学校)

### 「非行防止教室」

栗東市内全小学校で実施  
対象児童4年生781人

- 6月27日(火) 治田東小学校
- 6月28日(水) 金勝小学校
- 6月29日(木) 葉山小学校
- 6月30日(金) 治田西小学校
- 7月3日(月) 大宝西小学校
- 7月11日(火) 葉山東小学校
- 7月12日(水) 治田小学校
- 7月13日(木) 大宝東小学校
- 7月18日(火) 大宝小学校

## 少年非行等の諸問題を解決するには

県では、過去10年間における非行少年・不良行為少年の検挙・補導人数は減少傾向にありましたが、令和4年中、検挙・補導された少年(交通法犯を除く)は2,602人で、前年度に比べ272人(約12%)の増加となりました。ネット上にて児童ポルノや児童売春などの犯罪被害に合う18歳未満の子どもの数は高い水準で推移しています。街頭パトロールや少年相談、関係機関連携等により、少年がより深刻な状態に陥る前に注意、助言等を行うなどの支援が重要です。



警察署職員の話聞く児童(葉山東小学校)

## 栗東市少年センター 電話相談・来所相談

■ 場所は栗東郵便局近くの栗東市学習支援センター内1階です。

- 学校生活や友だちのこと…
- 就学や就職、家庭生活でのこと…
- 青少年の問題行動など…

相談受付 月～金(祝日・年末年始を除く)〈午前9時30分～午後4時〉  
電話番号 077-551-0141 メール shounencenter@city.ritto.lg.jp

